

ジオプール工法

施工状況



① 保護シート敷設

② 遮水シート溶着

③ 組立



④ 点検孔(土砂捕捉水透過壁)



⑤ 点検孔 1090×1090



⑥ シート完了状況



⑦ 点検人孔



⑧ 埋戻し



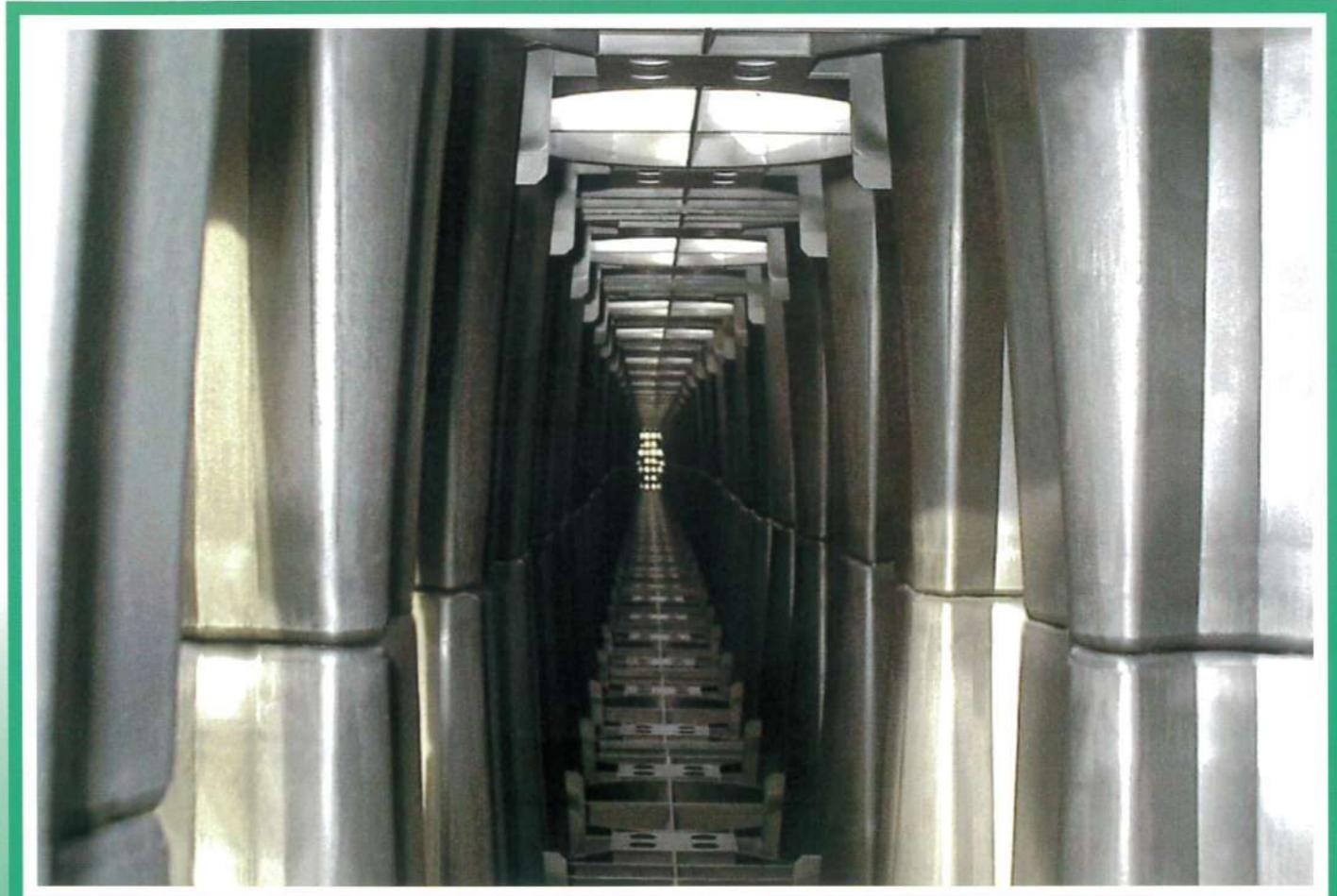
⑨ 上部利用施設（学校グラウンド）

—環境配慮型プラスチック製雨水貯留浸透槽—

ジオプール工法

(強度重視タイプ)

10年保証製品



株式会社日東ジオテクノ

本社 〒194-0021 東京都町田市中町1-2-2 森町ビル
TEL: 042-851-7922 FAX: 042-851-7923
E-mail: info@nitto-geo.co.jp

プラスチック製雨水貯留浸透施設ジオプール工法のご提案

開発背景

近年、都市化の進展に伴う道路整備や宅地開発により地面の不浸透化が進み、同時に気象環境の変化による豪雨の多発や局地的ゲリラ豪雨の傾向がみられます。

一方で、増大する廃棄物を前に、資源を有効に繰り返し使用する省資源循環型社会が現実のものとなってきています。これらの変化に対応するため、容器包装リサイクル法の適用を受ける再生オレフィン系プラスチック(PP・PE)を原材料に用いて、省資源、資源有効活用と効率的な洪水抑制を同時に実現する雨水貯留浸透工法として、「ジオプール工法」を開発致しました。開発にあたり、施工後120tレッカー車の通行や大型重機の作業もできるようにと業界最高の強度を有する製品を目指し、そして実現しました。その強度を活かして、仮設道路としての利用も簡単に実現することができます。

特徴

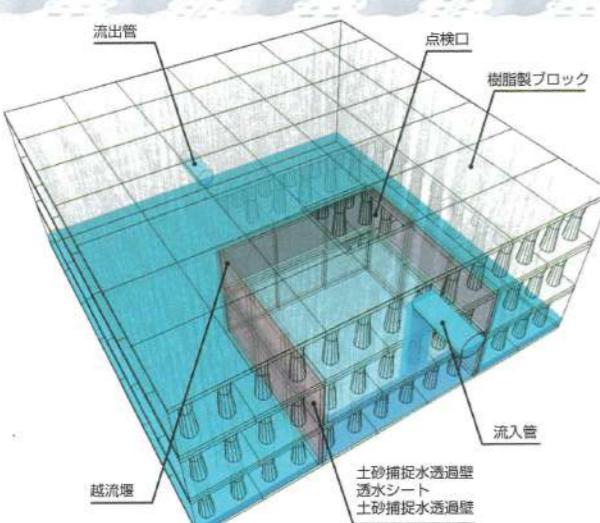
- 貯留率93% …限られたスペースで効率よく雨水をコントロールできます。
- 1日に約200m³組立可能 …大幅な工期短縮が可能となります。
- 3~4割のコストダウン …コンクリート構造に比べ費用を抑えられます。
- 点検や維持が容易 …点検用人孔を設置し、槽内部に入り目視点検ができます。
- 貯留型・浸透型 …2種類の槽が構築でき、あらゆるニーズにお応えします。
- T-25~120tレッカー車の通行が可能 …条件がございますので、予めご相談ください。
- 70t級ラフタークレーン車の作業が可能 …条件がございますので、予めご相談ください。
- エコマークを取得 …AE-1本体は、容器包装リサイクル法の適用を受ける再生オレフィン系プラスチック(PP・PE)を原材料

に使用しており、「エコマーク」を取得しています。

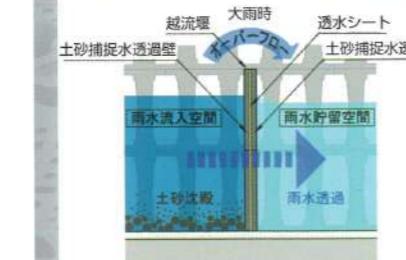
- 十分な耐久性 …地下に埋設するため、紫外線や熱等による科学的劣化が発生しません。

クリープ特性試験結果50年後の予測クリープ歪みは、基礎物性試験における許容限界内です。

- 耐震性能(レベル2) …適用範囲内においてレベル2(突發的大地震)相当の地震動に対する耐震性能を有しています。
(基礎物性試験から得たデータ・正負交番載荷試験及び地震応答解析結果)
- 土砂捕捉水透過壁システム …必要に応じてを設置することにより、流入土砂を区画内に堆積させ、点検口より、槽内に沈積、付着しているごみ、砂泥を除去することができます。
- 10年保証 …対人、対物(P.L保険)1事故5億円・目的物自体担保、1事故1,000万円限度として補償致します。
(補償対象条件あり)お問合せください。



土砂捕捉水透過壁システム



※特許権者：株式会社佐藤渡辺 特許番号：特許第5334913号

ジオプール工法ラインアップ

外観	AE-1型 ～本体～	AE-1-S型 ～壁補強板～	AE-1-W型 ～壁板～	AE-1-T4型 ～縦手～	AE-1-T8型 ～縦手～	AE-1-C型 ～天板～
寸法 (mm)	W 545×D 545×H 260	W 505×D 360×H 26	W 531.5×D 509×H 35.5	W 85×D 85×H 39	W 85×D 85×H 78	W 450×D 450×H 16
質量	4.3kg, 5.0kg	0.61 kg	2.0 kg	0.03 kg	0.06 kg	0.42 kg
材料	再生オレフィン系	再生ポリプロピレン	再生オレフィン系	再生オレフィン系	再生オレフィン系	再生ポリプロピレン
貯留率	93 %					
開口率	47.60 %					
鉛直最大応力	479.2 kN/m ²					
鉛直許容応力	258 kN/m ²					
鉛直長期許容応力	60kN/m ²					
水平最大応力	283.9kN/m ²					
水平許容応力	152.8kN/m ²					
水平長期許容応力	48.2kN/m ²					

【最大土被り=2.0m(仮置きの場合3.3m) 最大埋没深さ=4.8m】

注1) 質量・貯留率は標準的な数値を示したものであり、変化することがあります。

注2) 開口率とは真横から見た空隙面積比率であり、雨水の通しやすさを表します。

注3) 施工条件によっては使用しない製品もあります。

